


令和2年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
教育次長 藪井 慎吾	<p>●使命 私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、平成27年11月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、令和2年度瀬戸内市の教育に基づいた諸施策を実施します。</p> <p>●基本方針 瀬戸内市教育大綱 重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」 重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」 重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」 重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」</p> <p>以上、4つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待に応えるよう教育行政を推進していきます。</p> <p>(重点5「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」の事業は、令和2年度から市長部局の文化観光部へ)</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			64人	162人	226人
		一般会計	3,186,045 千円		
		特別会計	千円		
		計	3,186,045 千円 (文化観光部予算含む)		
		(うち人件費)	(830,063 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 魅力ある学校施設の整備と学習環境の改善を図ります。	<p>学校施設整備 老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施します。さらに、学校施設長寿命化計画に基づき、バリアフリー化や省エネルギー化等も含めた施設整備を推進します。</p> <p>ICT整備 教職員用の教育ネットワークのセキュリティ強化を図るとともに、平成26年度に整備した情報機器を更新し、教員の業務の効率化、授業の質の向上を図ります。</p>	<p>行幸小学校校舎大規模改造第Ⅰ期工事を年度内に完了させ、並行して第Ⅱ期工事に向けて準備を進めます。</p> <p>牛窓東幼稚園園舎大規模改造を夏休み中に完成させます。</p> <p>邑久小学校の南棟防水改修工事、牛窓中学校の校舎外壁改修工事、国府小学校のプール解体撤去工事など、学校施設の整備を年度内に計画的に実施します。</p> <p>前年度末に契約を締結しているが、6月中に納入を完了し、教職員の働き方改革に繋げることができるように説明会・研修会を行うなど十分な利活用に努めます。</p>	<p>行幸小学校校舎大規模改造Ⅰ期工事は、約75%の進捗率で概ね計画どおりに進んでいます。</p> <p>牛窓東幼稚園園舎大規模改造工事は、7月中旬に工事を終え、仮設園舎の撤去を8月中に終わりました。きれいになった改修後の園舎にて、2学期をスタートさせていきます。</p> <p>令和2年8月より、新ネットワークの運用を開始しました。児童・生徒の成績等を扱う校務系、授業で使用する指導系にネットワーク分離を行い、セキュリティの強化を実施しました。また、教職員にリモートワークシステムを導入し、家庭の状況に合わせた働き方ができるように整備しました。</p>	<p>行幸小学校校舎大規模改造Ⅰ期工事は、12月までに工事を終え、改修後の教室で3学期をスタートしました。現在はⅡ期工事の発注準備を行っています</p> <p>また邑久小学校の南棟防水改修、牛窓中学校の校舎外壁改修、国府小学校のプール解体工事も12月までに工事を終わりました。</p> <p>新ネットワークシステムの運用にともない、使用方法の研修や校内での伝達研修を実施しました。質問等があれば、総務学務課で対応していますが、これまで大きなトラブルはなく、順調に運用しています。また、リモートワークについては、1月末までのべ166人9,887時間の運用実績になっています。</p>	<p>行幸小学校大規模改造工事は、Ⅰ期工事を終え、令和3年度のⅡ期工事の開始に向けて準備を進めています。</p> <p>その他学校施設の整備についても年度内に工事を終わりました。</p> <p>令和2年9月から運用を開始しましたが、年度末までに情報漏洩や運用に関するトラブルの報告はなく、順調に運用しています。</p> <p>また、リモートワークについては、月あたり平均超過勤務時間の削減にも寄与し、利活用の利便性から、市内学校から接続アカウントの増設を希望する声が多くなっています。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
<p>児童生徒に安全で安心な給食を提供し、食育を推進します。</p>	<p>G I G Aスクール構想 児童生徒1人に1台の端末を配備するとともに、端末等の機器を十分活用できるように高速大容量の通信ネットワークの整備を進めます。（新型コロナウイルス感染症の感染防止対策による休校措置の際のオンライン学習などを進めるため、スケジュールの前倒しの必要が生じた。令和5年度末まで⇒今年度中）</p> <p>安全安心な給食の提供 衛生管理、安全管理を徹底し、異物混入を防止します。</p> <p>食育の推進 給食時指導等により食育を推進します。</p>	<p>年度内に校内通信ネットワーク整備に係る工事を完了させ、並行して国が示す補助金の情報、内容を注視しながら年度内に児童生徒1人1台の端末を購入し、併せてオンライン学習等に対応できる環境整備を行います。</p> <p>調理機器の日常清掃・日常点検及び服装点検等を確実に実施することにより、異物混入件数を昨年度より10%削減します。</p> <p>給食時指導や給食だより等により、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけてもらい、食にかかわる人々への感謝の気持ちを育むよう指導します。</p>	<p>令和3年3月末の整備完了に向け、ネットワーク整備工事の入札準備中。1人1台端末に関しては契約を締結し、納品に向けて準備をしています。</p> <p>調理機器の日常清掃・日常点検及び服装点検等を確実に実施していますが、R1.9末時点で9件であったものがR2.9末で17件となっています。原因については納入業者（肉の骨片、パン袋内の虫等）が大半を占めています。今後は、衛生管理等を徹底していきます。</p> <p>牛窓学校給食調理場において、栄養教諭の代員配置の関係で給食時指導が遅れていましたが、他については問題なく食育を進めています。</p>	<p>令和3年3月末の整備完了に向け、校内ネットワーク整備工事を開始しました。また、1人1台端末からのインターネット接続のための光回線の敷設工事や端末のキッティングについても協議を進めています。</p> <p>異物混入について、R2.1末時点では14件でしたが、R3.1末時点で39件となっています。混入経路の内訳は調理場12件、納入業者21件、学校1件、不明5件です。異物の大半は、毛、虫、骨であり、健康への影響は出ていませんが、今後、一層衛生管理等を徹底していきます。</p> <p>牛窓・邑久学校給食調理場の栄養教諭については、代員を配置し、今までどおり給食時指導や食育等を進めています。</p>	<p>年度内に校内通信ネットワーク整備工事及びインターネット接続のための光回線敷設工事を終え、児童生徒1人1台の端末を各学校に配備しました。</p> <p>異物混入について、令和元年度は3調理場合計で19件、令和2年度は3調理場合計で45件でした。令和2年度の混入経路の内訳は調理場15件、納入業者23件、学校1件、不明6件です。異物の大半は、毛、虫、骨です。金属混入はありませんでした。</p> <p>3調理場合計で、給食時指導等を約200回実施し、食に関する正しい知識、生産者等への感謝の気持ちを子どもたちに学習させました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>関係部局・関係機関と連携しながら就学前から義務教育まで、個々の子どもの状況を把握して、必要とされる資質や能力を育みます。</p> <p>園児児童生徒の自立支援 個々の子どもの課題や状況を把握し、指導・支援を継続して行います。</p> <p>学力向上のための事業の充実 学校力向上事業や教職員研修の充実によって、子どもたちに必要な力を育みます。</p> <p>地域学校協働活動の推進 各小・中学校に設置している協働本部で取り組んでいる地域学校協働活動を継続して推進するとともに、実施体制の強化を図ります。</p> <p>家庭教育の推進 子育てや成長など、子どもに関わる様々な悩みや課題を和らげるための事業を関係部署と連携して実施します。</p>	<p>・長期欠席・不登校の児童生徒の出現数を前年度より10%減らします。 ・幼小連携を推進する研修、授業公開を5回以上実施します。</p> <p>自己肯定感をもち、高い学習意欲をもった児童生徒を8割以上にします。</p> <p>活動のキーパーソンとなる地域学校協働活動推進員及び学校教職員のスキルアップを図るため、研修会を開催します。</p> <p>保育園・幼稚園や市内ファミリーテーターなどと連携して、親育ち応援学習プログラム（親プロ）学習会や養成講座を実施します。</p>	<p>・不登校の出現数は9月末現在の前年度比で小学校で微増、中学校で微減です。 ・特別支援教育や幼小連携についての研修を2回実施しました。</p> <p>・自己肯定感と学習意欲を高めるために安全を確保した上で、主体的、対話的な学習を実践しています。</p> <p>各学校での活動もコロナの影響で制限がかかっている状況ですが、その中でもできる活動や研修のやり方を模索中です。</p> <p>8月に、親プロファミリーテーター養成講座を実施し、8名が参加しました。 また、9月に福祉部と連携し親プロ学習会を幼稚園で実施しました。</p>	<p>・不登校の出現数は1月末現在の前年度比で小学校は増加、中学校は減少です。 ・特別支援教育や幼小連携についての研修を5回実施しました。</p> <p>・小学5年生から中学3年生の約8割が自己肯定感をもち、小学5年生の約7割中学3年生の約6割が計画的に学習しています。</p> <p>研修会の実施は見合わせることにしましたが、研修に代わる資料（好事例の紹介等）を関係者に配布する準備を進めています。</p> <p>幼稚園5園全て親プロ学習会を実施することができました。 現在、子育て支援センターでの父親向けの親プロ実施に向けて準備を進めています。</p>	<p>・不登校の出現数は小学校で10%超の増加、中学校で10%の減少です。 ・特別支援教育や幼小連携についての研修を6回実施し、継続的な指導について共有しました。 ・抽出校において、自己肯定感について約7割、計画的な学習について約7～8割の児童生徒が肯定的な回答をしています。</p> <p>県教育委員会生涯学習課発行の学校づくり・地域づくりの週刊誌及び、美和小学校の取組事例を情報として提供しました。</p> <p>子育て支援センター親プロ学習の年間計画が5月頃から開催予定。幼稚園内の親プロ学習会を年6回実施。養成講座を1回実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>生涯学習機会の更なる充実を図るため、市民の学習ニーズを把握しながら、社会教育施設がそれぞれ機能を高めるとともに連携を図り、事業を推進します。</p> <p>市民が主体となる文化芸術を通じて、瀬戸内市の良さを発信し、市民のシビックプライドを醸成することを目的とし、中央公民館を拠点とした学習の成果発表や、市民による企画事業などによって、瀬戸内市における文化芸術の発展、横展開につなげていきます。</p> <p>中央公民館、牛窓町公民館、長船町公民館の地域の特色を活かした持続可能な学習の拠点としての役割を考え、身近な地域資源を内外に情報発信し、多様な学習機会の提供を行います。</p>	<p>公民館と委員会が中心となり、市民が企画した事業などを実施します。</p> <p>また、市民参加型のロビーパフォーマンスを年5回以上開催します。</p> <p>事業の参加人数1,200人を目指します。</p> <p>菊づくり講座や海岸生物の現状調査の主催講座など公民館主催事業を実施します。</p> <p>参加人数25,000人を目指します。</p> <p>また、文化芸術を通して、公民館利用が少ない青年層(18歳～39歳)や外国人との交流講座を年2回実施し、参加人数30人を目指します。</p>	<p>文化の種まき応援事業では9団体から申請があり9事業が採択され、砥石城山登りウォークや夢二2020事業などを順次実施しています。ロビーパフォーマンスは会場をホールに移して参加者名簿の作成が徹底できる状況で11月から開催予定です。</p> <p>公民館におけるコロナ対策指針に準じて、菊づくり講座など順次開催しています。</p> <p>8月18日には牛窓の筵江海岸で海岸生物の観察会を実施しました(参加者34人)。</p> <p>また、文化があふれるまちづくり事業の前結び帯結ファッションショーに公民館から外国人留学生を紹介しモデルとして出演予定です。</p>	<p>市民企画コンサートで倉敷管弦楽団弦楽合奏コンサートを開催するなど感染症対策を徹底した上で、文化芸術の振興を図りました。(来場者173人)</p> <p>文化の種まき応援事業では、体験型の歴史学習事業など7事業を展開しています。</p> <p>前結び帯結ファッションショーでは主催者と外国人留学生を仲介し4名の外国人着物モデルが出演しました。また、ドローンの主催講座では、15人の青年層が参加し、躍動感ある体験講座となりました。(参加者46人)</p> <p>日本画体験講座や地域再発見ウォークなど、コロナ禍でも開催できる体験型講座を実施しました。</p>	<p>文化があふれるまちづくり事業ではコロナ対策に配慮した事業(ホールパフォーマンス4事業、委員会企画コンサート1公演、芸術展1事業、文化の種まき応援事業7事業)を実施しました。事業総参加人数は2,619人となりました。</p> <p>コロナ禍の中で講座数とその定員が大幅に減少となりました。菊づくり講座や日本画講座などの体験型の講座を実施することができました。参加人数は13,133人となり、前年度の27,670人と比較し47.5%となりました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>図書館との連携事業では、公民館や図書館に来館された市民が気軽に参加することができる事業を実施します。</p> <p>郷土資料などの地域の文化資源を図書館及び中央公民館で展示します。</p> <p>美術館との連携事業では、研修室で日本画教室を実施するとともに企画展の対話型鑑賞会も実施します。</p> <p>地域の身近な課題を解決するための事業や地域の振興につながる事業を関係部署と連携して実施します。</p>	<p>図書館との連携を目的に、オリーブの庭を活用したイベントやせとうちまー号を利用した事業を年 1 回以上実施します。</p> <p>来館者が身近な郷土に関心をもつことを目的とし、虫明焼などの地元ゆかりのある文化資源などの展示を実施します。</p> <p>岩絵の具で描く貴重な体験を目的とし、美術館と連携した日本画教室の参加人数30人を目指します。</p> <p>高齢者支援を目的とし、関係部署と連携して認知症サポーター養成講座の参加人数30人を目指します。</p>	<p>未就園児親子を対象とする長船町公民館主催事業うさぎの学校11月開催回に「せとうちまー号」とのコラボ企画を計画中です。</p> <p>5月16日から7月19日まで公民館所管の黒井千左氏、博史氏、故一楽氏の虫明焼を展示し、延べ2375人が観覧しました。</p> <p>8月28日に日本画講座を実施しました(参加者12人)。また、日本画体験後、美術館長の解説で企画展を見学し、理解を深めることができました。</p> <p>コロナウイルスの状況を注視し、社会福祉協議会と連携して認知症サポーター養成講座の開催を下半期に計画中です。</p>	<p>11月24日に開催したうさぎの学校では「せとうちまー号」が登場し、親子でふれあいながら絵本を選ぶ機会となりました。</p> <p>中央公民館ロビーで市民の作品や所有物を展示する瀬戸内コレクションでは、手製真空管アンプや明治大正時代の教科書など来館者の注目を集める逸品が寄せられ、延べ4,906人が観覧しました。</p> <p>牛窓東幼稚園で開催した日本画体験講座(参加者21人)では、水彩絵の具とは違う岩絵の具で絵を描く貴重な機会になりました。</p> <p>推進会議役員との協議をした結果、今年度の事業は中止となりました。今後も地域課題解決に向けて協議を継続することになりました。</p>	<p>コロナ禍の中、図書館との連携事業は年間1回の開催となりました。</p> <p>2月は「桃井国志～画文に至るあゆみ～」、3月は「馬場伝次郎の江川式建築展」を瀬戸内コレクションの募集により展示しました。延べ1,133人の方が観覧しました。</p> <p>3月13日に夢二郷土美術館と連携し、夢二生家記念館の椿を描く日本画体験講座を開講できました。参加された10人の作品は少年山荘や春の院展会場で展示します。</p> <p>認知症サポーター養成講座の中止に伴い、防災マップや防災グッズなど、牛窓地区をクローズアップした展示を実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
	<p>地域の情報拠点整備 まちづくりに役立つ地域の情報拠点として十分に機能するため、「瀬戸内市立図書館サービス計画」に沿って、多くの市民が利用できる図書館サービスの充実を図ります。</p> <p>子どもの読書活動推進 子どもの発達段階に合わせた読書を支援するため、「第2次瀬戸内市子ども読書活動推進計画」に沿って、子どもの読書活動推進を図り、図書館の子育て支援サービスにもつなげます。</p> <p>個性に合わせたサービスの提供 高齢者や障害者が利用しやすい読書環境を提供するため、認知症対策を含めた高齢者サービスと障害者サービスの推進を図ります。</p> <p>地域郷土学習の支援 市民が郷土に関心や愛着を持ち、瀬戸内市に関わる人々が瀬戸内市をより深く理解できるようにするため、地域郷土学習事業の推進を図ります。</p>	<p>全館の登録率 53%、実利用率を 18.5%、貸出冊数を約 334,000 冊（住民 1 人当たり貸出冊数を 9 冊）とします。</p> <p>子どもの発達段階に合わせた読書案内を 4 種類作成します。中高生向けコーナーにコミュニケーションボードを設置します。</p> <p>障害者サービスの利用案内を作成し、広報を年 4 回行います。また、認知症にやさしい本棚のおすすめ資料リストを作成します。</p> <p>郷土学習支援のためのパスファインダー（情報や探索方法の紹介）を 3 種類作成します。</p>	<p>全館の登録率は 52.1%、貸出冊数は 146,467 冊（住民 1 人当たり貸出冊数 4.0 冊）となっています。</p> <p>小学校低学年・中学年・高学年、中学生向けの本を選書中。11 月中に作成し、12 月に編集予定。コミュニケーションボードを準備中です。</p> <p>「図書館だより」及び屋台展示で、広報を 3 回実施。障害者サービスの利用案内は年度内完成予定。「認知症にやさしい本棚」のおすすめ資料リストは 1 月完成予定で編集中です。</p> <p>3 種のテーマを選定し、1 種目の案を作成中です。</p>	<p>全館の登録率は 52.7%、貸出冊数は 257,349 冊（住民 1 人当たり貸出冊数 7.0 冊）となっています。</p> <p>1 月に小学校低学年・中学年・高学年、中学生向けの読書案内を作成しました。コミュニケーションボードは、11 月に設置しました。</p> <p>認知症にやさしい本棚おすすめ資料リストは 2 月末完成を目標に編集中です。障害者サービス利用案内も同時期に完成予定のため、図書館だよりで 4 回目の広報を行う予定です。</p> <p>パスファインダーの 1 種目を作成中。3 月末までに 3 種のパスファインダーを完成させる予定です。</p>	<p>全館の登録率は 53.3%、実利用率は 16.4%、貸出冊数は 315,455 冊（住民 1 人当たり貸出冊数 8.5 冊）となっています。</p> <p>読書案内 4 種類（小学校低学年・中学年・高学年、中学生向け）を作成しました。コミュニケーションボードを設置しました。</p> <p>認知症にやさしい本棚おすすめ資料リストと障害者サービス利用案内を作成しました。図書館だよりで障害者サービスの広報を 4 回行いました。</p> <p>2 種類のパスファインダーを作成しました。残り 1 つを令和 3 年 4 月中に完成させる予定です。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>市民の健康づくりや体力づくりのため、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、活動の場所と機会の提供を行います。</p> <p>呂久スポーツ公園の改修 冒険の森をこども広場とし、自然を生かし、遊具の設置を最小限にとどめることにより、自然の中で子どもが自由に遊べる場所として整備を進めます。 また、野球場のトイレや駐車場の整備を進めます。</p> <p>牛窓体育館の今後の方針 令和元年度に実施した耐震診断の結果を基に、施設の今後の方針を検討します。</p>	<p>令和元年度に策定した改修基本設計を基に、課題となっていたトイレの整備を始め、手足洗い場、遊具、東屋、駐車場等の改修実施設計を3月末までに作成します。</p> <p>10月末を目途に、関係者からの意見を集約し、耐震補強・改修または解体の方針を決定します。</p>	<p>7月末に受注者を決定しました。他部局と連携を図りながら実施設計を進めており、今後は、市民の参画によるにぎわいのある公園となるためのワークショップを開催します。</p> <p>過去に体育館を利用していた団体及び現在牛窓地域で学校施設を利用している団体の意見を聞くため、アンケート調査を実施し、6月に結果を取りまとめました。</p>	<p>11月のワークショップ、12月の子育て世代による座談会において実施設計の素案を提示し、具体的な整備内容についての意見交換を行いました。</p> <p>12月に瀬戸内市スポーツ推進審議会を開催し、施設の方針について諮問しました。</p>	<p>意見交換会や現地視察等でいただいた多くの意見を盛り込んだ実施設計が完了しました。</p> <p>耐震診断結果、学校、利用者アンケート、スポーツ推進審議会等でいただいた意見を基に施設を廃止し、学校用地として有効活用する方策を講じます。今後は、個々の課題についてさらに検討を行います。</p>